

(地 440)

令和 2 年 1 2 月 1 6 日

都道府県医師会

担 当 理 事 殿

日本医師会常任理事

長 島 公 之



NBCR対策推進機構

第7回「生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」の開催について（再依頼）

さて先般、令和2年9月30日付（地 328）の文書をもって、貴会にNBCR対策推進機構による「生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」の開催についてご案内をお送り申し上げたところですが、同機構より再度、周知方依頼がありました。

なお、感染拡大防止上の観点から、オンラインでの受講のみになったとのごことでございます。

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了知いただくとともに、貴会災害医療担当者等への周知方につきご高配賜りますようお願い申し上げます。

記

NBCR対策推進機構

第7回「生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」

開催日：令和3年1月31日（日） 9：00～17：00

締切日：令和3年1月12日（火）

定員 オンライン：100名（会場での受講は無しに変更）

費 用：NBCR対策推進機構の個人正会員：1.5万円

NBCR対策推進機構の団体正会員：1万円

非会員：2万円

02NBCR 第234号
令和2年12月8日

公益社団法人 日本医師会
常任理事長 島公之殿

特定非営利活動法人
NBCR 対策推進機構
理事長 井上忠雄



第7回「生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」
の都道府県医師会への再度の広報についてのお願い

謹啓

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

弊機構は令和2年度事業の一環として、第7回「生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」を別添のとおり計画し、公益社団法人日本医師会殿のご後援を得て目下鋭意準備中です。

本講習会の都道府県医師会殿への広報につきましては、既に「02NBCR 第188号（令和2年9月23日）」にてお願い申し上げておりますが、受講希望者が予定人数に未だ達していません。

つきましては、誠に恐縮ではありますが、再度の広報をご配意賜りますよう、改めてお願い申し上げます。

謹白

別添：第7回「生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」（案）

問合せ先：阿部剛士、益田亮介、吉田 満 電 話：03 - 5829 - 6187 F A X：03 - 5829 - 6197 E - mail：info@nbc-taisaku.com
--

第7回「生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」(案)

(救命・救急医、産業医及び生物テロ対策担当者が知っておくべきこと)

1 級認定コース・日医生涯教育制度 5.5 単位

後援：公益社団法人 日本医師会

開講（オンライン受講）のご案内

皆様ご承知の通り、中国に端を発する新型コロナウイルス感染症が、今や全世界に蔓延し、日本でも今なお流行・拡大防止に全力を挙げています。また、最近、エボラ出血熱やデング熱、SARS(重症急性呼吸器症候群)、鳥インフルエンザ、更にはジカ熱、MERS(中東呼吸器症候群)などの新興・再興感染症の世界的流行や炭疽菌、ボツリヌス毒素、リシンなどを使用した生物テロなどの生起により、生物災害対策の重要性が改めて指摘されております。特に、感染力の強いと言われる新型コロナウイルスの世界各国の流行・拡大防止対策やわが国の政府を挙げての感染防止対策は、全国民に改めて対応重視の意識を高めました。また、致死率の高い新興感染症として発見された MERS、SFTS(重症熱性血小板減少症候群)やエボラ出血熱などの世界的流行に対し、感染症対策の重要性が改めて指摘されております。この度、弊機構は第7回「生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」(救命・救急医、産業医及び生物テロ対策担当者が知っておくべきこと)をオンライン方式で開講することと致しました。今回の講習会では、中国で発生した新型コロナウイルスに対する対応の状況も加えて、現在日本の第一人者として活躍中の新進の講師を迎え、生物テロ・バイオ災害対処、特に新型コロナウイルス対策に真に役立つ第1級の危機管理コース(生物テロ・バイオ災害対策責任者1級認定)と致しました。

ご多忙中誠に恐縮に存じますが、奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

令和2年12月 吉日

N P O 法人 N B C R 対策推進機構

会 長 片 山 虎之助

理事長 井 上 忠 雄

第7回「生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」(案)について
 ―主として救命・救急医・産業医及び生物テロ対策担当者が知っておくべきこと―

1級認定コース・日医生涯教育制度 5.5 単位認定

主催 NPO法人 NBCR対策推進機構

後援 公益社団法人 日本医師会

■ 趣旨

2021年(令和3年)の東京オリンピック・パラリンピックの開催が目前に迫りました。過去のオリンピック時に生じたテロ事件或いは米国で生じた炭疽菌郵送テロ事件やリシン郵送事件等を考えると安全・安心を確保して東京オリンピックを成功させるためには官民挙げてテロ対策等の予防に万全を期さねばなりません。

また、この度、中国に端を発した新型コロナウイルスによる肺炎の流行・拡大防止は、東京オリンピック・パラリンピック開催にも少なからぬ影響を与えております。我が国では、新型コロナウイルスを始め、インフルエンザやSFTS等の感染症による被害等が懸念されております。

バイオ災害では、この度の新型コロナウイルスの対策で経験したように、検知・警報、防護、除染、医学的措置の中でも特に医学的対応が重視されます。

今回は、この度の新型コロナウイルス対策の教訓等を踏まえ、現在日本の第一人者としてご活躍中の先生方を講師に迎えオンライン及び会場参加方式による第7回「生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」を下記の通り開催いたします。今回の講習会は、新型コロナウイルスに直面した医療の先生方や消防職員等に対して行う生物テロ・バイオ災害対処に特化した第1級の危機管理コースです。大変お忙しい折柄、恐縮に存じますが、奮ってご参加ください。

■ 講習対象者

救命・救急医、産業医、病院等医療危機管理担当者、保健所職員、消防関係職員、企業危機管理担当者、自治体危機管理関係者、その他講習の受講を希望される方

■ 認定証発行

講習修了時認定試験を行い「生物テロ・バイオ災害対策責任者認定証(1級)」を発行し当機構での認証を行います。

■ 講習日時

日 時	受付締切	定 員
令和3年1月31日(日)09:00～17:00	1月12日(火)	オンライン受講:100名

■ 細 部

※ カリキュラム: 第7回 生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会カリキュラム(案) 付紙

※ 申込: Eメールにて、弊機構事務局宛<info@nbcrc-taisaku.com>にお申込みください。

申込方法は、Eメールタイトル「1月第7回生物テロ・バイオ災害対策講習会申込」

● メール本文に、①オンライン受講と明記、②受講者氏名(ふりがな)、③所属、④請求書あて名、⑤講義資料郵送先となる住所、⑥電話番号、⑦Eメールアドレス、⑧弊機構の会員有無を記載お願いします。

※ 締切: 先着定員になり次第申込を締め切ります。

オンライン受講者・会場受講者の合計が30名以下の場合は、延期し順延の通知をいたします。

※ 費用: 2万円(個人正会員: 1.5万円 団体会員: 1万円)

■ 連絡先: NBCR 対策推進機構

〒111-0053 東京都台東区浅草橋 2-7-9 大森ビル 2階

電話: 03-5829-6187

FAX: 03-5829-6197

e-mail: info@nbcrc-taisaku.com

受付担当: 事務局 執行役員 阿部剛士

■ 第7回 生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会カリキュラム (案)

日	時 間	科 目	講 師
令和3年1月31日(日)	09:00～09:10	オリエンテーション	弊機構理事長 工学博士 井上 忠雄
	09:10～10:00	1 災害と医療 ーバイオ災害対策の重要性ー	日本医師会 常任理事 長島 公之 先生
	10:00～11:00	2 最近の生物剤の動向	防衛医科大学校 防衛医学研究センター長 兼分子生体制御学講座 教授 四ノ宮 成祥 先生
	11:00～12:00	3 感染制御としてのバイオテロ対策	防衛医科大学校 広域感染症疫学・制御 研究部門 教授 加來 浩器 先生
	12:00～12:50	休 憩 (昼 食)	
	12:50～13:40	4 生物テロ・バイオ災害医療対策	厚生労働省関東信越厚生局 指導医療官 (前自衛隊中央病院長) 千先 康二 先生
	13:40～14:30	5 バイオ災害対処防護機資材	科学警察研究所 法科学第一部生物 第5研究室 主任研究官 武藤 淳二 先生
	14:30～15:30	6 新興感染症からみた生物テロ・バイオ災害 対策	国立感染症研究所 ウイルス第一部長 西條 政幸 先生
	15:30～16:30	7 新型感染症への備え ー新型コロナウイルスを中心にー	東京都災害医療コーディネーター 杏林大学医学部救急医学教室主任教授 同付属病院高度救命救急センター長 山口 芳裕 先生
	16:30～16:35	休 憩	
	16:35～16:55	8 試 験	
	16:55～17:00	修了証 ならびに 認定証 付与	

*講師の先生はやむを得ない事情により変更となる場合がありますので、ご了承ください。